

# 子育てするうえで ありがたい街



渡辺明 (わたなべあきら)

1984年東京都葛飾区生まれ。棋士。10歳で小学生将棋名人戦に出場し、史上初優勝。

15歳でプロになり、弱冠20歳で竜王位を獲得。その後も竜王戦は8連覇中で初代永世竜王保持者。

昨年の王座戦では19連覇中の羽生善治氏を下し、初の王座を獲得。現在までの戦績も羽生氏に勝ち越している。

現在、竜王・王座の2冠を保持している。

初代永世竜王に輝く、若手最強の棋士・渡辺明さん。  
葛飾生まれの渡辺さんが、武蔵野市に移り住もうと決心したのは、  
子育てを考えてのことだったといえます。

武蔵野市に住むようになって、かれこれ5年が経ちます。生まれ育ったのは葛飾区なんですが、結婚してから西国分寺に住むようになって、子どもが幼稚園に通い始めるタイミングで武蔵野市に引っ越して来ました。職場が千駄ヶ谷(将棋会館)ということもあって、中央線か総武線沿線を探していたところ、いろいろ条件が合ったので武蔵野市に決めたという感じです。吉祥寺駅と西荻窪駅の中間辺りなので、家の周囲は静かな住宅地。にもかかわらず、徒歩圏内に何でも揃う繁華街があるというのは生活する上でとても便利です。

棋士というのは、対局があるとき以外は基本的に出かける必要がないので、都心に住む必要はあまりないんです。僕が生まれ育った葛飾区は、柴又のおかげで下町のイメージが強いんですが、広々とした空き地や公園がたくさんあって、結構のどかでした。子どものあることを考えると、あまり過密な都市には住みたくなかったですね。

子どもがサッカーをやっているので、よく行くのは武蔵野市役所の向かいにある陸上競技場でしょうか。市が開催する小学生向けのサッカーのイベントにも何回か参加しましたよ。

武蔵野市に来てありがたかったのは、「地域子ども館あそべえ」の存在です。放課後、小学校の校庭や教室を利用して子どもたちが自由に遊べる場



を提供してくれていて、大人のスタッフもいるので親としては安心です。うちの子どもも毎日のように利用していますよ。子どもにとっては勝手知ったる場所ですし、誰かの家に遊びに行くのと違って、親同士も気を使わずに済みますから。妻も「本当に助かる」と言っています。今日、武蔵野市の取材を受けてと言ったら、「あそべえで助かっていることを強調してくれるように」と言われました(笑)。子育てに追われる主婦にとっては、自分の時間も持てるようになるのでとてもありがたい仕組みでしょうね。武蔵野市に来てよかったですね。

## PRESENT

今回取材した渡辺明さんの直筆サイン入り色紙を抽選で5名様にプレゼント! 詳しくは本誌折り込みハガキをご覧ください。

